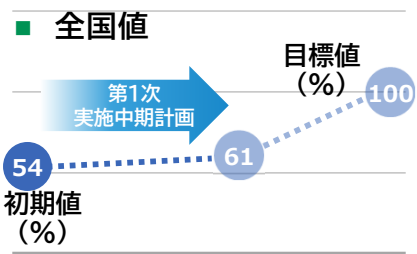


# 【40】電柱倒壊リスクがある市街地等の緊急輸送道路の無電柱化対策【国土交通省・総務省・経済産業省】

指標名：電柱倒壊のリスクがある市街地等の第一次緊急輸送道路（約10,000km）※における無電柱化整備完了率



R5 R12 R61

※対策実施の優先度の観点から、市街地等の緊急輸送道路約20,000kmから市街地等の第一次緊急輸送道路に絞り込み

■ 指標の定義

(市街地等の第一次緊急輸送道路の無電柱化整備延長) / (市街地等の第一次緊急輸送道路 約10,000km) × 100

■ ポイント

緊急輸送道路上にある災害により倒壊し緊急輸送道路が通行不能となると、避難・救助や物資運搬等の道路を使用した災害対応に多大な影響が生じるため、耐震化の推進が必要である。

■ 用語解説

- 緊急輸送道路  
…災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線で、高速自動車国道や一般国道及びこれらを連絡する基幹的な道路
- 第一次緊急輸送道路  
…県庁所在地、地方中心都市及び重要港湾、空港等を連絡する道路

「重ねるハザードマップ」において、緊急輸送道路上の電柱の有無について公開。

見える化

拡大表示

「すべての情報から選択」をクリック  
↓  
「道路防災情報」をクリック  
↓  
「緊急輸送道路上(国管理)の電柱の有無」を選択



緊急輸送道路上(国管理)の電柱の有無

R7.3時点

凡例

- ① 建柱区間(道路敷内)
- ② 建柱区間(道路敷外)
- ③ 電共整備中区間(電柱・電線有)
- ④ 電共整備中区間(電柱・電線無)
- ⑤ 電共整備済区間(電柱・電線有)
- ⑥ 電共整備済区間(電柱・電線無)
- ⑦ 電柱・電線の無い区間(橋梁・トンネル等)
- ⑧ 電柱・電線の無い区間

一部、緊急輸送道路以外の道路においても建柱状況を表示している区間があります。

出典：重ねるハザードマップ <https://disaportal.gsi.go.jp/index.html>  
 ※ 各地域の洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示可能。  
 ※※ 直轄国道のみを公開

